



# しほろ議会だより

受け継ぐ100年の想い  
そして未来へ

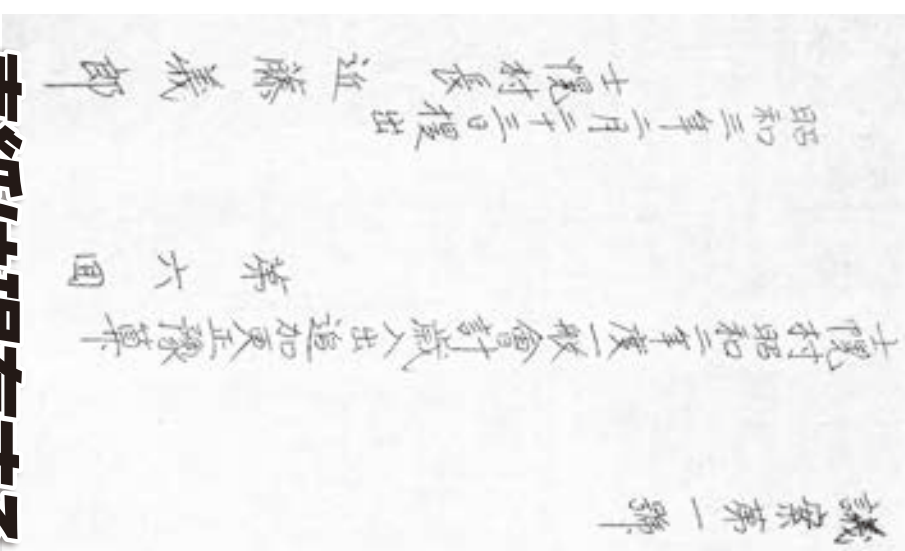
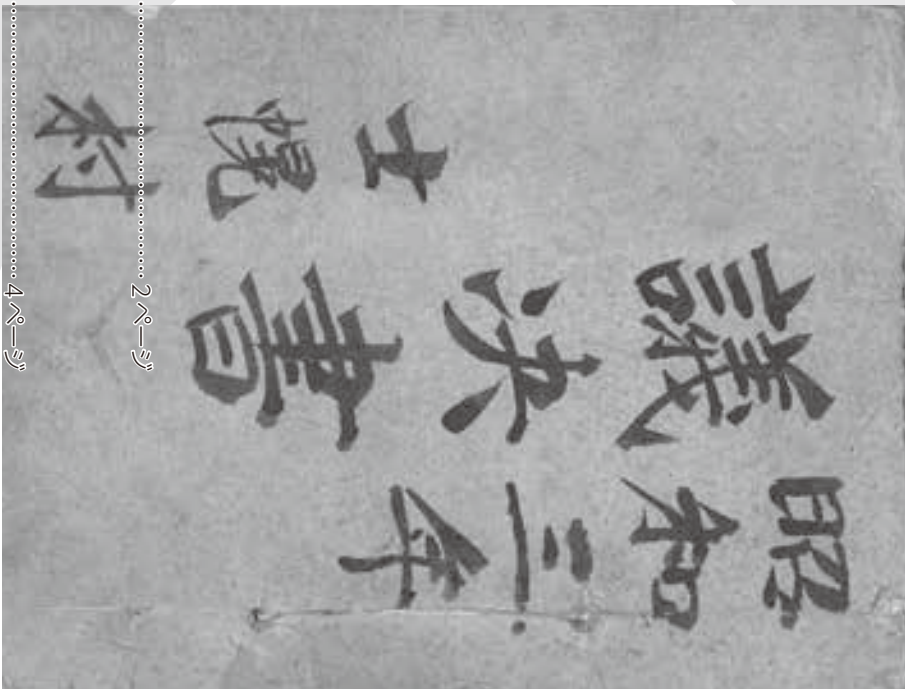
令和3年11月 No. 182 ■発行/士幌町議会

■HPアドレス

<https://www.shihoro.jp/assembly/>

Q しほろ議会

検索



## —Contents—

- 9月定例会  
条例の改正、補正予算ほか……………2ページ
- 一般質問  
人口減対策について……………4ページ
- ほか 2件……………7ページ
- 決算認定……………11ページ
- 委員会活動報告……………12ページ
- 今回の表紙について……………12ページ

表紙は現存する最古の議決書  
第3回定例議会開催

# 歳出総額130億円の決算を認定



第3回定例会の様子(9月3日)

第3回定例会が、9月3日から9日までの会期で開会。

3日は行政報告、教育行政報告、ほか報告2件と議案5件の審議を行った。(9月4日～6日は議案調査のため休会)7日は、一般質問3件、条例改正3件、令和2年度各会計補正予算を審議、令和2年度各会計の歳入歳出決算にかかる決算審査特別委員会(加藤宏一委員長)を設置し、9日まで審査を行い、同日に本会議を再開し、全会計の歳入歳出決算を認定、意見書案2件、追加議案の備品購入契約の締結1件を審議し、全ての議件を原案どおり可決し、閉会した。

## 条例の改正

【行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例及び土幌町個人情報保護条例の一部を改正する条例案】

デジタル庁設置法の制定及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、条例を改正するものである。

【土幌町手数料徴収条例の一部を改正する条例案】

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、個人番号カードの再発行に係る手数料の徴収主体が地方公共団体情報システム機構に変更したことに伴い条例を改正するものである。

## 議決

【名誉町民の決定】

中島康夫氏、鈴木洋一氏を名誉町民に決定することについて同意。

## 人事

【農業委員会委員の任命】

委員の欠員に伴い、菊池氏の任命に同意。

【教育委員会委員の任命】

任期満了により、時光氏の再任に同意。



鈴木洋一氏



中島康夫氏



時光早苗氏



菊池和浩氏

## 第3回定例会で審議された案件

報告	結果	結果
▼行政報告		結果
▼教育行政報告		賛・反
▼例月出納検査報告		
▼令和2年度土幌町公共下水道事業特別会計継続精算報告書について	了承	
条例の改正	結果	賛・反
▼行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び土幌町個人情報保護条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成

## 物品購入契約の締結

### ○契約の目的

介護浴槽購入

### ○契約の方法

指名競争入札

### ○契約の相手方

帯広市西3条南16丁目18番

2号

株式会社ムトウ帯広支店

支店長 岡田 智宏

### ○契約金額

770万円

### ○説明

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものである。

## 各会計補正予算

一般会計、ほか3特別会計及び1事業会計の補正予算を可決

主な補正内容は次のとおり

### ○一般会計

▼財務書類作成支援業務

委託料 288万円

▼中土幌太陽光発電所機器

更新工事 841万円

▼名誉町民肖像作成委託料

286万円

▼愛のまち建設基金積立金 4000万円

▼開町100周年記念碑設置工事 300万円

▼共済費 118万円

▼自立支援給付費等負担金返還金 163万円

▼介護等事業所運営補助金 2000万円

▼職員共済組合負担金（保健衛生総務費） 134万円

▼健康管理システム改修委託料 389万円

▼病院事業会計医療機器整備事業出資金 107万円

▼農業振興施設等整備事業補助金 1750万円

▼積立金特別分（農業振興基金運用事業費） 350万円

▼積立金一般分（農業振興基金運用事業費） 350万円

▼商品券発行事業助成金 2100万円

▼飲食店応援クーポン券発行事業助成金 300万円

▼宿泊・観光割引事業助成金 300万円

▼修繕料（住宅管理費） 750万円

▼定住促進対策事業助成金 1000万円

▼会計年度任用職員報酬 293万円

### ○介護保険事業特別会計

▼国庫負担金返還金 1179万円

▼道費負担金返還金 334万円

▼支払基金交付金返還金 162万円

○介護サービス事業特別会計

▼修繕料 209万円

○簡易水道事業特別会計

▼北海道自治体情報システム協議会負担金 2500万円

○国民健康保険病院事業会計

▼器械備品購入費 302万円

※補正予算は歳出で100万円以上のみ記載しています。

## 意見書審査報告

各常任委員会に2件の意見書（案）が審査依頼され、本会議に提案し、原案のとおり決定され関係機関に送付

### 【総務文教常任委員会】

□□ナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

【産業厚生常任委員会】

国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

▼土幌町手数料徴収条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町営住宅管理条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
一般議案	結果	賛・反
▼名誉町民の決定について（鈴木氏）	可決	全員賛成
▼名誉町民の決定について（中島氏）	可決	全員賛成
▼損害賠償額の決定及び和解について	可決	全員賛成
▼工事請負契約の締結について	可決	全員賛成
人事	結果	賛・反
▼農業委員会委員の任命について	同意	全員賛成
▼教育委員会委員の任命について	同意	全員賛成
令和3年度各会計補正予算	結果	賛・反
▼一般会計（第4号）	可決	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計（第1号）	可決	全員賛成
▼後期高齢者医療事業特別会計（第1号）	可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計（第2号）	可決	全員賛成
▼介護サービス事業特別会計（第1号）	可決	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計（第1号）	可決	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計（第1号）	可決	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計（第1号）	可決	全員賛成
令和2年度各会計歳入歳出決算認定	結果	賛・反
▼一般会計	認定	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計	認定	全員賛成
▼後期高齢者医療事業特別会計	認定	全員賛成
▼介護保険事業特別会計	認定	全員賛成
▼介護サービス事業特別会計	認定	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計	認定	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計	認定	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計	認定	全員賛成
意見書	結果	賛・反
▼コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財政の充実を求める意見書	可決	全員賛成
▼国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	可決	全員賛成

一般質問に3名が登壇

# 町民の声を町政に・町政のここが聞きたい

大西 米明 議員 ⇨ 人口減対策について

伊藤 健蔵 議員 ⇨ 自主防災組織の取組みについて

清水 秀雄 議員 ⇨ 新型コロナウイルス対策について

9月定例会では3人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えをたどしました。内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載(12月上旬予定)します。

## 町民の満足度を増やす 地域づくりを 5000人を切らないまちづくりをしたい



【大西米明 議員】

質問

土幌町の人口は2015年より278人減の5854人と6000人を割り込んだ。国の施策により町も人口減対策で人口ビジョンを定めたが達成できなかった。一度見直し検証してはいかがか伺う。

小林町長答弁

町の人口動態を見ると、自然動態で250人減、社会動態で20人減と死亡数が出生数を上回る自然減が大きな要因である。

町は定住人口対策として、子育て支援、婚活イベント、移住促進と併せて、住宅環境

の充実に取組み、特に住宅団地の造成、公営住宅の整備、空き家、空き地対策、民間賃貸住宅の促進など住宅環境の充実が社会減の抑制につながっている。今後は地方創生総合戦略を推進するうえで、地域の特性を活かした対策を積極的に推進する。

質問

下居辺に移住体験住宅と農園付き住宅の利用があるが、どのような結果になっているのか伺う。

亀野総務企画課長答弁

農園付き住宅は平成30年度に利用開始し令和2年度までに8組16名の利用があり、令和3年4月から町内一般住宅において二地域居住が生活を開始している。

移住体験住宅は平成26年度から令和2年度までで5組145人、延べ1585日間の滞在があった。

質問

土幌町には1日に1200人の方が働きに来ていると言われている。帯広方面から通ってくる人を定住させることを考えなければならない。それに併せて、農業の規模拡大が進み、人手不足が問題になっている。町外から農家に働きに来てくれる人を定住させて基幹産業の農業を発展させる施策はできないか伺う。

小林町長答弁

1000人近い方が、町外から通っている。就職するときに住宅が空いている環境を作っていくかなければならない。

町では、マンション建設時に助成をしている。公営住宅



農園付き住宅

を含めて3万円で住める環境を整備したい。

また古い公営住宅を2万円以内で入れるよう住宅環境を整備する予算を来年度で考えている。

質問

土幌に住んでいる住民が幸せ感を町外に発信することが、他から住もつという気持ちになる人を増やす施策になると考えるが。

小林町長答弁

定住人口対策として住宅対策も重要だが子育て、生活環境を含めてソフト面の充実も重要であり、町をアピールする取組みもしていく。

質問

2040年に5000人、国では4000人台となっているが、土幌町で持続可能なまちづくりをするためにはどのくらいの人数が最低限必要と推計しているか伺う。

小林町長答弁

2040年に※社人研で4300人と予想している。本町の特徴は、生産性、所得も

全道でトップクラス。その経済性と併せて、文化、生活、潤いのある町づくりも必要である。2040年に5000人を切らない町づくりを進める。

質問

今、日本では年間で40〜50万の人口が減り、約10年で北海道の人口が無くなる位のスピードである。人口増の考え方を転換し、少ない人口の中

※社人研とは

国立社会保障・人口問題研究所の略

で土幌町がどう生きていけば良いのかという方に発想を変えなければならぬと考えるが。

小林町長答弁

人口減の取組みは最大の取組みで、人口を増やすことは難しい。それで住んでいる町民が満足感をどう持つかということが一つの取組みである。もう一つは移住体験住宅とか農園付き別荘とか、そういうものを通じて関係人口を増やしていくことに留意し地域づくりを進める。

# 自主防災組織の結成 促進を

地域の組織を検証しながら推進していく



【伊藤健蔵 議員】

質問

毎年9月1日は「防災の日」であり、町では平成20年6月に土幌町自主防災組織育成指導要領を制定し、組織の育成や指導を実施している。制定されてから13年経過している

が町内の自主防災組織の結成状況と防災活動状況について伺う。

小林町長答弁

指導要領に基づき結成の呼びかけを実施したところ、平成28年度に4地域世帯数力バ1率15.1%が令和2年度末では世帯数力バ1率は48%となった。今後、情報提供や避難訓練など消防をはじめ関係機関・団体としっかり連携しながら活動の充実を図りたい、また今年度より個別に配布した防災ラジオを活用し、自主防災組織の活動により地域の防災力を高めながら、誰もが安心、安全を実感できるまちづくりを推進していく。

質問

世帯力バ1率48%と半分だが、災害に強い町をつくるには、100%で官民一体となって防災活動に耳を傾け、結成に理解を得る努力をして欲しい。特に高齢化率の高い地区や住宅密集、高層集合住宅が多い地区について早急に結成を促進してはどうか。

小林町長答弁

町づくり懇談会等で普及推進するとともに、それぞれの町内会にも推進をしている。特に市街地はできる限り早くということを進めている。今

後も町内会と連携を密にしながら、町が積極的に働きかけていく。市街地は駐在区を単位として、農村部は公民館単位での結成を基本にししながら進める。

質問

自主防災活動は駐在区の住民だけではなく、事業所などにも必要だと思う。本町には数十人、数百人規模で働く職場や工場もあるが、各事業所への防災活動の指導は考えているか。

小林町長答弁

防災の呼びかけは全町的にやっているが、具体的な呼びかけは自主防災組織のある地域ごとになっている。町内の各事業所における自主防災の取組みについても今後検討しながら推進していく。

質問

自主防災組織の活動には地域による温度差を感じる。それぞれの状況を広報やフェイスペインク等で紹介して共通認識を高めてはどうか。

亀野総務企画課長答弁

各自主防災組織のそれぞれの活動は広報等で啓発を行っている。今後色々な情報手段を活用しながら情報発信に努めていく。

質問

自主防災組織は住民組織として駐在区、公民館等と位置づけているが、常会に加入していない住民が居る場合、活動費として常会費を使うことに支障が出ている。自主防災組織活動は別枠で助成や支援をすべきではないか。

小林町長答弁

現在、地区の自主防災活動については、立ち上がりなどの資材等の整備とパートナーシップ事業の中の位置づけをして助成をしている。それが地域の自主防災活動に十分かどうかを検証しながら、予算でも措置していくことを考

えていく。

伊藤議員

国家滅亡させるの法則は、鍛える、備える、蓄える、この3つのうちどれ一つ怠っても国が滅びるといふもので、それは町にも言える。特に近年は備えることが重要性を増している。町として万が一に

備え、自主防災組織が全ての地区で早急に結成され、安心な町づくりのための必要な対策を講ずることを願う。

# コロナ対策の充実を

## 感染防止と経済支援の両立を図る



【清水秀雄 議員】

日常生活にも大きな影響が出ている。企業の経営、商店街の営業支援策とともに住民生活を守ることに町長の所見を伺う。

小林町長答弁

昨年以降全国的な感染拡大の長期化から、本町においても外出や移動の自粛による経済活動の制限や消費行動の縮小などにより、多くの商業者が影響を受ける厳しい状況にある。本町においては国道の施策を補完し、町内事業

者の事業継続、雇用維持を図るための独自の支援策として、売り上げ減少に直面する小規模事業者への支援金の給付、雇用調整助成金等の申請業務代行に係った経費の助成、観光拠点施設の雇用継続支援、小規模事業者の家賃負担軽減給付、プレミアム商品券発行事業助成などを実施し、さらに本年度当初予算で小規模事業者向け支援金給付など、一部国の地方創生臨時交付金を活用しながら昨年度から本年8月までで約1億2000万円の経済支援を行った。また

質問

PCR検査は非常に遅れている。町民の命と生活を守るために無料にしていつでもどこでも何度でも受けられるような状況を作ることが大切だが、所見を伺う。

小林町長答弁

管内的に見ても受検人数は多くない。受けて、送って、何日か経って結果が分かるPCR検査はなかなか受けられないのではないかとということ、それを補完する意味で今、病院や特老では抗原検査を揃えている。当面はPCR検査に加えて抗原検査で補完していく。PCR検査も2000円だからやれないという実態があるのであれば考える。

質問

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、道内では8月27日から緊急事態宣言が発せられる事態となり、町民の

# 令和2年度 一般会計ほか7会計 決算委員会質疑

第3回定例会で付託された令和2年度各会計決算審査特別委員会（加藤宏一委員長）において、各委員から出された質疑の一部を要約してお知らせします。

## 一般会計

## 総務費

### 防災無線の増設に ついて

清水委員

防災無線は各戸に一台ずつ配布されている。酪農家から牛舎にもう一台設置の要望が出ているが措置できないか。

亀野総務企画課長

原則1世帯1台で配布している。ただ、緊急時の連絡なので、実態を踏まえて今後検討したい。



町内に配布された防災無線

令和2年度 一般会計ほか7会計

亀野総務企画課長

現在、文部科学省のホームページで廃校プロジェクトを活用し公募している。本町のホームページでも現在掲載しているが、ホームページリニューアルを機に引き続き情報発信に努める。

森本委員

現在整備中の光回線もPR材料になるので、今後企業を対象とした公募をメインとするのか町としての活用への考えがあるのか見解を伺う。

小林町長

公募は引き続き光回線のPRもしながら行う。地域的な活用は子どもの体験やスマート農業の推進、あるいは町内の企業で新たな起業をしたいという話等もあるが、今後具体的に話をしていく。

森本委員

町民からアイデアを募る方法や、専門家の意見を伺い、町からプランを提案して公募することなども今後考えていきたい。

### 旧小学校利活用 推進事業について

森本委員

令和2年度においても実績がなかったが、独自でPRする機会はあったのか。



旧佐倉小学校

### 美濃市との交流 について

大西委員

コロナウィルス感染症の影響ですべての交流が中止になったが、コロナ禍でも何らかの形で交流をすべきである。土幌町の特産物を送り、物産での交流をするのはいかがか伺う。

河田総務企画課担当主査

道の駅などで土幌町の物産を販売できないか持ちかけたが、集客が厳しく叶わなかった。今後状況を見極め対応していく。

大西委員

土幌町はじゃがいもが特産なので、美濃市の児童・生徒にコロナなどを学校給食で提供することも交流の一つになると考えるが。

亀野総務企画課長

基幹産業である農畜産物を提供することを考え検討していく。

## 民生費

### 認知症高齢者等 緊急支援事業について

伊藤委員

認知症高齢者等緊急支援事業は農協との共催で始まり、当初は利用が多かったと思われるが、当年度の利用はゼロである。利用の状況について伺う。

**藤村保健福祉課長**

この事業は平成23年頃に介護サービスの提供が逼迫して利用できない方のために創設されたが、保険給付外であった。現在は介護サービスを保険給付内で利用されている方が多いことから事業実績がゼロとなった。

**矢坂委員**

支給が7月ということであるが、高等学校に進学する4月の入学準備に金額が掛かるので、それに間に合うような支援の仕方にならないか何う。

**藤村保健福祉課長**

来年度の支給は今年の所得を鑑み3月に支給することを検討している。

## 高等学校等修学支援金給付事業の支給について

**矢坂委員**

高等学校等修学支援金給付事業の支給方法と時期について何う。

**渡辺保健福祉課担当主査**

この給付事業は、所得要件が310万円以下の世帯等で支給方法は7月1日基準日と設定されているので、基準日以降の在学証明書、それに併せて申請書を提出していただき、所得等を確認させていただいた後に希望された銀行口座への振込みで支給している。



士幌高等学校

## 衛生費

### 家庭訪問事業の実績について

**森本委員**

家庭訪問事業の中で保健師の家庭訪問が幼児、学童、高齢者について増えている。その理由は。

**三島健康介護担当課長**

コロナの関係で学校等が休みとなっていたため乳幼児の訪問であっても、その家庭に幼児・学童がいる場合には健康確認をして人数を加算しているためである。高齢者が増えているのは、保健と介護の一体的事業というものがあがり、今まで介護事業の中（民生費）で行っていた家庭訪問事業を、保健師が高齢者の家庭に向いて健康状況を確認しているためである。

## 農林業費

### 有害鳥獣駆除事業の実績について

**牧野委員**

ヒグマの捕獲が1頭報告されているが、捕獲の時期、場所、目撃や出没情報の件数は。

**川岸産業振興課主幹**

中音更のスイートコーン畑にて夏場に1頭、猟友会と連携し捕獲した。出没情報は10件前後であった。

**牧野委員**

近年、人身被害や農業被害が増えているが未然に防ぐ対策は行っているか。

**川岸産業振興課主幹**

町内では市街地での出没はないが、農地等での足跡や目撃などの情報があった場合、対象地域へのファクスとメールで注意喚起をしている。常時出没情報が出た場合は猟友会と情報共有のうえ連携し、駐在所へのパトロール依頼も行っている。

**牧野委員**

捕獲や出没情報のあった場

所への注意喚起の看板の設置は考えているか何う。

**川岸産業振興課主幹**

現在、又ブカの里の登山道の入口には町外からの登山者も多く、ヒグマの生息エリアであることをお知らせするため設置している。今後、ヒグマの食害や問題行動、同じ場所での出没状況が見られるときは猟友会とも協議、連携し設置を検討する。



登山口に設置された看板



## 土木費

### 歩道のインターロッキングの改善は

清水委員

西2線の歩道がインターロッキングで、車椅子を利用されている方が通行困難なので町として改善できるか伺う。

田中建設課長

町民から要望があれば、道に修繕の依頼をする。道の対応も時間が掛かるので、緊急性があれば応急的な措置を町で行い対応している。

### 街灯のLED化に ついて

大西委員

町内の街灯すべてがLED化されたと思われるが、以前と比較するところのくらい安くなったのか伺う。

加藤建設課主幹

基本的な電気料が下下しているのが単純な比較はできないが、平成25〜27年に町内の街灯のLED化を進めたが、それ以前は約1000万円程度の電気料であったが、令和2年度は483万円の電気料であった。

## 教育費

### 中央中学校吹奏楽部の 楽器購入について

牧野委員

学校施設整備状況で今回は主な備品として、吹奏楽部の楽器購入がされている。その内容について伺う。

進士教育課担当主査

吹奏楽部の楽器更新は5年ほど前から定期的に更新をしている。令和2年度は管楽器で修繕ができなくなったものについて更新した。

牧野委員

吹奏楽部の楽器で古い物も多くあるが、今後も定期的に考えているのか伺う。

土屋教育長

楽器は比較的安価な物もあるが、種類によっては1つ100〜200万円という物もある。適宜更新はさせていただきたいが予算の関係もあるので十分協議をしながら進めたい。



令和2年度に購入された楽器

進士教育課担当主査

今想定しているのは、宿題だが、そのきつかけづくりにして休業中の朝の会、健康観察というような取り掛かりやすいところからオンライン通信に慣れていけるよう調整中である。

森本委員

北大生のサポート塾が現在、新型コロナウイルスの影響で開催できていない状況にあるが、オンラインでの開催をぜひ進めていただきたい。現在町内で進んでいる光回線の整備が終わると導入可能になるが、十分な試験をして実施願いたい。

土屋教育長

町内の小中学生が同じ条件で使えるというのが望ましいが、使ったうえでいろいろな課題も出てくると思うので、たとえば（光回線整備済みの）中土幌地区を先行して実施して検証作業を行い、全町で環境が整った段階で直ぐに使える状況を整えたい。

### GIGAスクール 構想について

森本委員

GIGAスクール構想というところで町内の学校に端末と校内のネットワーク環境が整備された。これから授業等への利用、また小中学校については家への持ち帰りも検討されていると思うが、現在想定している持ち帰りをした場合の利用方法を伺う。



西2線のインターロッキング



LED化された街灯

## 歳入歳出全般

### コロナの影響による 予算の執行残について

大西委員

「コロナウイルス感染症の影響で予算執行できないことがあった。この一年間の執行残はいくらなのか、また次年度に予算化されているのかどう。」

亀野総務企画課長

「コロナウイルス感染症の影響で行事等が中止になり各予算の減額が生じ、全体で4583万円、主だったものでは、旅費546万円、各行事497万円、文化交流365万円などそれぞれ各年度に繰越し積立し、有効活用していく。」

### 中学校での端末利用状況



### 土幌高校のオリンピック への所在提供について

大西委員

土幌高校では生産した食材をオリンピックに提供するべく努力してこられたが、延期となっていたオリンピックに提供することはできなかったのか。

木下高校事務長

グローバルGAP認証食材

のオリンピック・パラリンピックへの提供については、今年度契約を結び直し、オリンピックには間に合わなかったが、ジャガイモをパラリンピック選手村に提供することができた。

大西委員

是非この機会を土幌高校のPRとして今後の生徒募集に活かしてもらいたい。



土幌高校のじゃがいも収穫

## 議会だよりをあなたのスマホにお届け



### マチイロ 導入しました

アプリをインストールし、簡単な個人設定を行うと使用開始になります。「お住まいの地域」で郵便番号などから「北海道士幌町」を登録すると、発行日に「議会だより」が届きます。



# 委員会活動報告

## ◎「コロナ禍における議員活動

今年も新型「コロナウイルス」が猛威をふるっています。

感染予防対策で人との接触が制限される中、「コロナ禍で「議員は何をしているの?」という町民からの問い合わせもありました。

ここでは、委員会の活動状況を報告します。

## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では、「コロナ禍でも調査できる町内の所管事務調査に取り組んでいます。」

### ◎所管事務調査とは?

所管事務調査とは、委員会が自主的に※所管する事務について行う調査です。町政の各分野における課題の解決に向けて、調査を行い、政策や施策を提案します。

※総務文教常任委員会が所管している部署は、出納室、総務企画課、町民課、教育委員会、選挙管理委員会などです。

### ◎調査のテーマは

所管事務調査のテーマは、「公用車の管理について」としました。

役場には、たくさんのお車が配置されています。

町の財政が厳しさを増す中、公用車が適切に配置、管理され、安全対策が図られているかを調査しています。

### ◎所管事務調査の経過

#### ○常任委員会の開催

- ・ 第一回 6月4日(金) 調査内容を協議
- ・ 第二回 7月5日(金) 調査テーマを決定
- ・ 第三回 8月10日(火) 所管事務調査(書類調査)
- ・ 第四回 10月14日(木) 所管事務調査(現地調査)

土幌高校、車輛センター、教育委員会、役場北側

### ◎調査結果の報告

今後は、これまでの調査の結果を検証し、12月に開会される、第4回定例会において所管事務調査

報告を行う予定です。



所管事務調査(高校)

## 広報特別委員会

### ◎委員会の活動

議会広報特別委員会では、議会の活動状況を広く町民に知っていただくための活動を行っています。

### ◎議会だよりの発行

委員会の代表的な活動は、

広報誌「しほろ議会だより」の編集・発行です。

編集作業は、毎月1回程度行われ、定例会の記事を中心に「公正で住民目線」の情報発信を心がけています。

年4回の発行で、3ヶ月ごとにご様のもとへ届けられます。

### ◎情報発信の方法

町民への情報発信は、議会だよりの他に公聴(行政に対する意見・要望などを聴く活動)やホームページ(以下HP)などがあります。

◎議会のHPをリニューアル

議会のHPは、十年以上前に作成されたもので、「スマホやタブレットで閲覧しにくい」との問い合わせを受けています。

委員会では、町HPの更新に合わせて議会HPのリニューアルを進めています。

### ◎委員会の活動

9月9日(木)

・ 広報編集作業182号

10月8日(金)

・ 広報編集作業182号

・ HPリニューアル協議

10月14日(木)

・ HP制作会社(札幌市)

とオンライン協議  
11月4日(木)  
広報編集作業

### ◎どんなHPを目指すのか

・ 町民に親しんでいただけ  
のHPを目指します。

・ わかりやすく、見やすい  
HPを目指します。

### ◎HPの更新予定

令和4年4月予定



製作会社とのオンライン協議

今回の表紙は、土幌が開町100周年記念ということで、町議会が保有する最も古い書類を表紙にしました。表紙の中で昭和3年土幌村と記載されていますが、土幌は大正10年に音更村から川上村に分村、大正15年に川上村から土幌村へ改称、昭和37年に土幌村から土幌町になりました。

●約100年前って何があったの？

世界では、アインシュタインがノーベル賞受賞、  
日本では、メートル法公布、初の国勢調査実施、第1回箱根駅伝開催  
十勝では、帯広農業高等学校の前身、十勝農業学校が開校  
土幌では、川上村から土幌村へ改称

●大正14年（1921年）に生まれた有名人

片岡千恵蔵、ダリ・サルバートル、チャールズ・ブロンソン

●大正14年（1921年）に亡くなった有名人

ドボルザーク

●大正14年（1921年）頃の曲

どんぐりころころ～作詞：青木存義



【土幌村第三期村会議員】

当時は、議長を置かず、議会の議決は村長が行っていました。